

成長を牽引する若手研究人材の育成・支援プラン2011

平成22年度予算額 732億円
平成23年度予算額 1,046億円



ライフイベントとの両立

～多様な視点を供する若手女性研究者の研究環境整備～

女性研究者研究活動支援事業：10億円（新規）
出産・子育て等と研究の両立を目指す女性研究者のための環境整備に取り組む大学等を支援
<新たに10機関程度を支援>

国際的な活躍の場

～若手研究者が切磋琢磨する場の提供～

主な事業のみを記載



海外特別研究員事業：19億円（3億円増）
優れた若手研究者が、自らの研究計画に基づき、海外で長期間（2年間）研究に専念出来る機会を拡充
<新規採用者：138 228名>

頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣事業：18億円（新規）
国際的な課題に挑戦する若手研究者の組織的・戦略的な海外派遣を支援
<派遣見込者数：208名>

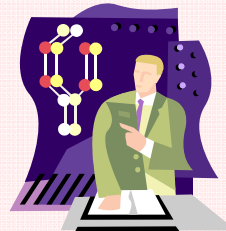
戦略的国際共同研究プログラム：7.5億円（3億円増）
世界の研究者と国際共同研究で切磋琢磨できる機会を提供

自立的な研究の基盤

～若手研究者の挑戦とステップアップを支援～

テニュアトラック普及・定着事業：81億円（新規）
新たなキャリアパスとして、テニュアトラック制（公正に選抜された若手研究者が、安定的な職を得る前に自立的な研究環境で経験を積む仕組み）を位置づける大学を支援<新たに135名程度に研究費1千万を支給等>

特別研究員事業：180億円（13億円増）
優秀な若手研究者が主体的に研究に専念できるよう研究奨励金を給付。特に優れた研究能力を有する博士課程修了者等を対象とした特別研究員事業（PD）を大幅拡充（PD採用者数：1052名 1385名）



戦略的創造研究推進事業（新技術シーズ創出：さきがけ）：100億円（2億円増）

社会的・経済的ニーズを踏まえ、国が定めた方針の下、我が国の重要課題の達成に貢献する新技術の創出に向けた個人型の課題達成型基礎研究を推進

科学研究費補助金（若手研究A、若手研究B、挑戦的萌芽研究）：588億円（290億円増）

研究費の使い勝手を良くし、研究者の負担軽減を図るため、科研費の一部を基金化し若手研究者支援を充実（予算額は、若手向けメニューのみを集計（基金分も含む））

キャリア開発の支援

～キャリアパスの多様化を促進～

ポストドクター・インターンシップ推進事業：19億円（新規）
企業等でのインターンシップなど、キャリア開発の支援に取り組む大学等を支援
<新たに6機関程度を支援>

研究に専念できる環境

～若手研究者の負担を軽減～

リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備：3億円（新規）
研究マネジメント人材の養成と定着を支援（＝リサーチ・アドミニストレーターを育成/確保する大学等の支援及び全国的なシステムの整備）

